

まなぶだより

和歌山県教育センター学びの丘 広報誌



学びの丘イメージキャラクター
まなぶ

専門性の向上をめざす研修



教育センター学びの丘では、和歌山の学び続ける教職員のために、専門性の向上をめざす研修を実施しています。多くの教職員が様々な分野の研修を受講し、資質・能力の向上のために研鑽を積んでいます。次に研修の一部について紹介します。

知的障害のある子供のための授業づくり研修講座
〈選択研修〉
【8月20日（木）】



午前の部は、知的障害のある子供への授業づくりについて、講義・演習を行いました。知的障害の特性をもとに、授業づくりのポイントを整理し、特別支援学校(学級)の授業づくりに欠かせない「支援」についてグループで考えました。午後の部は、国立特別支援教育総合研究所 神山 努 研究員による「知的障害教育における授業づくりについて」と題した講義を実施しました。新しい学習指導要領の評価の在り方や単元構想、課題分析に基づいた指導等、演習を交えながら学びを深めました。

ICT 活用のため実践研修①
〈特定研修〉
【8月26日（水）】



ウェブ会議システムを活用したオンライン研修を実施しました。和歌山大学 豊田 充崇 教授による遠隔教育の成果や課題についての講義とオンライン教材の作成方法についての演習を行いました。オンライン上でのグループ協議も行い、受講者からは「まず自分が楽しむ気持ちで、小さな一歩からでも踏み出していけたらと思います。」等の感想が寄せられました。GIGAスクール構想をはじめとした、教育の情報化を推進するために、「できることからやってみる」ことの大切さについて理解を深めることができました。



新任主幹教諭研修①② 〈特定研修〉 【9月1日（火）・11月24日（火）】

今年度から新たに設置された主幹教諭を対象とし研修を実施しました。①では、滋賀大学 大野 裕己 教授から「主幹教諭の機能・役割と組織マネジメント」について、②では、大阪体育大学 土屋 裕睦 教授から「コーチングのスキルと活用」について、講義・演習を通して学びを深めました。2回の研修を通して、組織を活性化し、協働をすすめるには、主幹教諭の力が重要なものとなることを確認するとともに、組織において果たす役割について考える機会となりました。

小学校算数教科教育研修講座
〈選択研修〉
【10月1日（木）】



午前の部は、授業づくりで大切にしてきたことについて、有田市立保田小学校の教諭による実践発表を行いました。午後の部は、京都教育大学 黒田 恭史 教授による「数学的な見方・考え方を育てる算数科の授業づくり」と題した講義を実施しました。黒田教授は、冒頭に「子供を活躍させるために無駄な時間は作らない」と話され、そのための授業づくりのポイントについて具体的に学びました。受講者にとって、明日からの授業実践に向けて意欲を高めることができる機会となりました。



活力ある学校図書館をめざす
司書教諭・学校司書等研修講座
〈選択研修〉
【10月9日（金）】

午前は、粉河高校の教諭と学校司書による実践発表、午後は、放送大学 堀川 照代 客員教授による学校図書館における幅広い仕掛けについての講義を実施しました。なお、午後の部は、「学校図書館担当教員研修会」との合同開催とし、より校種を越えた研究協議が実施されるなど、本県の図書館教育の活性化に向けて有意義な研修となりました。

「令和2年度和歌山県教育センター学びの丘研究報告会」への御参加お待ちしております！

教育センター学びの丘では、今日的な教育課題や県内の学校が直面する課題の解決に向けて、指導主事や長期研修員等が研究を進めています。報告会は、前半が指導主事等による研修、後半は研修員による研究発表の二部構成で実施し、その研究成果を県内の教育関係者の皆様にお伝えしたいと考えています。また、研究成果のパネル発表も行っています。併せて御覧ください。

□ 日時: 令和3年1月30日(土) 13:00~17:00

□ 会場: 教育センター学びの丘



詳しい内容は、開催要項及び後日お知らせする第2次案内をご覧ください。



◎学びの丘指導主事等による研修

【関連教科】	タイトル	内容
【授業づくり 教科全般】	全集中！30分で取り組む授業プラン検討	指導略案のサンプルをもとに授業づくりのポイントを解説します。
【特別支援教育】	知って得するICT —特別支援教育に役立つデジタル教材—	PCやタブレットを使ったコンテンツを体験していただきます。
【ICT活用】	クラウドサービス体験研修 —はじめてのG Suite—	1人1台端末時代に求められるクラウドサービスの使い方の基礎・基本を体験していただきます。
【教育全般】	星空を楽しもう —プラネタリウム鑑賞—	宇宙や天体に関する学習ができます。プラネタリウムの活用方法についても紹介します。

◎研修員研究発表 ※発表タイトルについては、当日までに変更することがあります。

	発表タイトルと発表者	会場 ※()内は、サテライト会場
研修員 発表①	自主学習力を高める予習展開型の国語科授業づくり —学習シートと思考ツールを活用した複式学級の指導を通して— 新宮市立熊野川小学校 山本 賢太郎	研修室1 (物理・地学実験室)
	図や式を用いて自分の考えをかく力を育む算数科の授業づくり 和歌山市立砂山小学校 東 翔子	研修室2 (生物実験室)
研修員 発表②	自閉症・情緒障害特別支援学級における自立活動の指導について —付きたい力の習得・定着を図り、活用をめざす指導ステップの提案— 和歌山市立楠見小学校 西本 広樹	研修室1 (物理・地学実験室)
	「話すこと・聞くこと」領域における話し合うことの授業づくり —「読むこと」の既習内容を生かした指導の工夫を通して— 湯浅町立田村小学校 池永 圭佑	研修室2 (生物実験室)
研修員 発表③	全ての子供を対象としたチーム支援に向けて —スクリーニング会議を生かして— 串本町立潮岬中学校 新川 薫	研修室1 (物理・地学実験室)
	児童の望ましい行動を増やす支援の在り方 —特別支援学級の授業づくりに「PBS」の視点を取り入れて— 田辺市立三栖小学校 中山 友美子	研修室2 (生物実験室)
研修員 発表④	自分の思いや考えを英語で表現し伝え合う授業づくりについて —「話すこと」における即興性を意識した活動を通して— 田辺市立上芳養中学校 渡口 奈都希	研修室1 (物理・地学実験室)

※研修員研究発表は、新型コロナウイルス感染症対策のため研修室1、研修室2及びサテライト会場を設けた4会場で開催します。

※詳しくは、各学校へ別途案内を送付しますので、確認の上お申し込みください。